

# 果 樹

## 【りんご】

### 1 「シナノスイート」の収穫

収穫適期は満開後 150 日前後から着色の良い果実から収穫します。果肉硬度が低めの品種なので、押し傷が発生しないように果実は丁寧に取り扱いましょう。低暖地では外観に比べ硬度の低下、デンプンの消失が先行しますので、着色を待って収穫適期を逃すことが無いようにしましょう。逆に高標高地では食味が向上する前に着色が進むので未熟果を収穫しないように注意します。

### 2 「シナノゴールド」の収穫

未熟果は酸度が高く食味は劣り、評価を下げることに繋がります。シナノゴールド本来の味になるまで、収穫は急がないようにしましょう。おいしいシナノゴールドの収穫目安は、次のとおりです。

- (1) 満開後日数：160～170 日以降
- (2) ワックスの発生：わずかに感じる程度
- (3) 甘みと酸味のバランス：糖度 14%以上・酸度 0.45%以下（糖酸比 32～35。糖酸比 35 になるには、糖度 15.5%の場合は酸度 0.44%、糖度 14%だと酸度 0.40%）
- (4) 着色：がくあ部まで黄色に着色（写真）し、「シナノゴールドカラーチャート 2007 年」で、標高 500m未満では 3.5、標高 500m以上では 4.0 以上が収穫適期の目安です（陽光面と陰光面の中間の赤道部で比色します）。
- (5) 収穫があまりにも遅くなると裂果発生率が高まります。裂果が目立ってきたら収穫を急ぎます。また、果面ワックスの発生が多くなり、程度により果面に埃などが付着し汚れやすくなります。



### 3 「シナノホッペ」の収穫

着色や蜜入りし易い品種なので早採りに注意が必要な品種です。満開後 180～190 日、糖度 15%程度、酸度 0.4%程度、果肉硬度 17 ポンド程度、ヨード・デンプン反応指数 2 程度、そして、食べてみて果汁が十分感じられカスっぽくない状態が収穫期の目安となります。

特に満開後 180 日を過ぎ、ヨード・デンプン反応指数が 2.5 を下回ってくると美味しく感じられる傾向にあります。



### 4 「ふじ」の着色管理

果実の肥大に伴い枝が下垂し、受光態勢が悪くなります。着色管理の前に支柱立てや枝つり等により受光環境の改善を行います。

葉摘みは収穫開始予定の 30～40 日前から 2～3 回程度に分けて行います。強い葉摘みは、鮮明な色に仕上がらないばかりか、食味や来年の花芽にも影響します。1 回目は、果実に直接着いている果そう葉を数枚摘む程度とし、着色が進むにつれ、果実に十分光が当たるよう果実周囲の葉を除去する 2 回目を実施します。

「シナノホッペ」のヨード・デンプン反応（上段から、指数 2 程度、同 2.5 程度、同 3 程度）

## 【ぶどう】

収穫が遅れると脱粒や軸枯れ等が多くなり、出荷ロスが発生するばかりでなく出荷調整にも時間がかかります。

シャインマスカットでは「かすり症状」が発生する場合があります。発生原因とされることの一つに、収穫遅れがありますので、熟度を把握し、収穫遅れにならないようにします。

10 月は礼肥の施用時期となります。なたね粕等の有機質の肥料の場合は、遅くとも 10 月上旬までには施肥します。



かすり症の発生したシャインマスカット